

## VCトライテックス リーク初優勝！！そして昇格！！

【一般社団法人VC長野クリエイトスポーツ代表理事 笹川星哉】

今季から参入したV・チャレンジリーグIIを17勝1敗で乗り切り、初優勝することができました。2月28日(日)、その優勝の瞬間を地元ホームゲームで、1,000人近くの皆さんの目の前で迎えられた事は本当に嬉しかったです。



沢山のご声援が選手の背中を強く押してくれていることを感じ、最高の形で優勝する事ができました。

ただ、リーグが終了したとはいえ、翌週にはもうチャレンジマッチというスケジュールでしたので、とにかく気持ちを切り替え挑みました。



その1日目は、エース：峯村が勤務で欠場、チャレンジリーグIIスパイク賞の森崎が発熱で欠場という苦しい状況でした。その中で小林(哲)が26得点とスーパーエースとしての仕事をこなし、小池・池田・酒井と代わりに入ったメンバーもチームとしての役割を理解したプレーで貢献して、3-0で勝利する事ができました。昇格に大きく近づく結果でした。

2日目、森崎は熱が下がらずに欠場でしたが、峯村が合流して挑みました。1セットでも取れば昇格

決定という有利な条件でしたが、ゲーム開始直後は東京ヴェルディの意地の前に完全に後手に回ってしまいました。1・2セットを先取され、得失点差もこの時点で0と苦しい状況に追い詰められました。迎えた3セット目、今シーズン最後の試合くらい「VC長野らしい泥臭いバレーをしよう」とチーム内で声を掛け合いました。全員で拾い、全員で繋ぎ、全員で1点をもぎ取るバレーを展開。25-18でこのセットを奪取。この時点で「昇格」が決定しました。その勢いそのまま勝ちにこだわったのですが、4セット目を25-27で落としてしまい、セットカウント1-3での敗戦。来季から挑むチャレンジリーグIの厳しさを体感させられた日となりました。





それでも、100人近いサポーターに船橋アリーナまで駆け付けて頂きました。そのサポーターの方々の喜んで下さっている姿を見た時は、昇格できた事に本当にホッとしました。きつく厳しい試合でしたが、「チーム」「パートナー」「地域」が一体となって「昇格」を掴み取ることができたのだと思います。

さて、こうして最高のシーズンが送れたのも、支えて下さる皆様のお陰です。ありがとうございました！来季も皆様の期待に応えられるチームにしていきますので、今以上のご声援、ご支援を何卒宜しくお願い致します！

## 第77回理事会・第10回加盟団体代表委員総会開催される

【総務委員長 内山政則】

一般財団法人長野県バレーボール協会の第77回理事会が、平成28年3月12日（土）午前10時よりたつのパークホテルにて開催され、平成28年度事業計画(案)、同収支予算(案)が慎重審議の上、可決されました。



又、引き続き午後1時30分から、第10回加盟団体代表委員総会が同会場で開催され、平成28年度事業計画、同収支予算の報告がなされました。

船木会長からは、「平成27年度は、ワールドカップ等大きな大会を開催出来た。更に長野県内チームの活躍もあり、併せて県民に多くの感動と勇気を与えられたことは、大変な喜びであった。今年度は、益々良い年になりますよう皆様にご尽力願いたい」との挨拶を頂きました。

### 平成28年度 運営基本方針

（公財）日本バレーボール協会は昨年6月の役員交代から、「喫緊の改革」として、2015年度赤字の大幅な圧縮と2016年度の黒字転換を目的に、財政基盤の強化、チームコアの強化、風土改革、「2050年構想のキックオフ」として、中期目標収益事業会社構想、エリートアカデミーの活用、人材戦略構想、MRS再構築を掲げ歩き始めました。

当協会として今年度開催する、北信越国体をはじめとする北信越関連大会、Vリーグの関連ではホームゲームをはじめとする各大会、各種県大会を昨年同様協会員各位の協力により成功裏でおさめ、健全財政確保に努め、体罰・暴力根絶をめざし倫理委員会の必要ないバレーボールを目指していきます。

国民体育大会において、第70回和歌山国体は成年男子4位少年男子5位と両チームの頑張りで、42.5点を獲得しバレーボール競技男女総合7位と久しぶりの入賞を果たしました。本年度も全国中学選手権裾花中学優勝、

JOC女子優勝、春高バレー創造学園高校3位の実績を踏まえ、少年男女・成年男女共に最強チームを結成し、第71回いわて国体での天皇杯得点獲得目標32.5点を達成します。

北信越関連では、第37回北信越国体、北信越実業団9人制、第6回北信越春季大学選手権を担当し、今年度も多くの大会を開催します。これら大会の成功にむけて協力をお願いし、県協会主催の大会並びに各種事業が、全員の力で計画どおり進むようご協力お願い致します。



## 重 点 事 業

### 1. 強 化

4種別とも北信越を突破し、第71回いわて国体において天皇杯得点32.5点以上を獲得する。

(1) 成 年 : これまで通り、県内有力チーム・選手をベースに有力な「ふるさと選手」を補強して挑み総力を上げて本国体出場と天皇杯得点の獲得を目指す。

(2) 少 年 : インターハイ県予選優勝チームを核に上位チームより有力選手を補強して挑み、男女ともに最強チームで本国体上位入賞を目指す。

(3) ジュニア強化: 強化、指導普及、小中高指導者が更に連携を強化して、人材の発掘・育成活動を充実させ更なる一貫指導体制の充実を図る。

### 2. 第37回北信越国体・Vリーグの成功

第37回北信越国体、Vリーグ関連大会のビッグ大会を成功させ、健全財政に向け協会の強化を図る。

### 3. 競技人口拡大

小学生、中学生、高校生のバレー人口の減少に関わって、県全体ではいまだに減少傾向にあるが、一部の中学校・高等学校で部員が増えていることも事実である。今年度は中学生と高校生の部員勧誘方法を中体連・高体連と協力しながら指導普及委員会を中心に研究するとともに、「13地区対抗選手権大会」を運営する中で、加盟団体との連絡を密にして競技人口の拡大を図る。

## 長野☆GaRons グランドチャンピオンズマッチ出場権獲得ならず

【長野☆GaRons 総監督 篠崎 寛】

2月27日(土)～28日(日)、須坂市須坂市民体育館において第6回6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会「男子長野大会」が開催されました。



この大会には、昨年までの富士通グループ長野改め長野☆GaRons（長野ガロンズ～以下、ガロンズ）が参戦しておりますが、ガロンズはここまで1勝1敗で第4位という成績でした。本大会は参戦6チーム中上位2チームが東西のプレーオフ（グランドチャンピオンズマッチ）の出場権を獲得することが出来ます。

ガロンズは27日(土)、第1試合で新日鉄住金君津（以下君津）、第2試合でトヨタ車体（以下、車体）と、28日(日)には東京三菱UFJ銀行（以下、UFJ）と3連戦となり、プレーオフ進出のためには、負ける訳には行かない厳しい試合となりました。

27日(土)の第1試合は序盤、堅さからサーブで崩されて君津に5点のリードを奪われました。セット中盤でようやく元気を取り戻しましたが、前半の得点差が終盤まで響き、第1セットを先取されました。2セット目以降は両チーム共に長いラリーが展開される試合となりましたが、3セットを連取してセットカウント3-1で勝利しました。

第2試合は車体の粘り強いレシーブと元気あふれるエースのスパイクに押され、フルセットまでもつれました。ファイナルセット中盤まで五分五分の展開となりましたが、ガロンズのリリーフサーバー：青木の効果的なサーブと、観客を沸かせるディグ連続8ポイントで押し切り、勝負は2日目のUFJ戦へと持ち越されました。

2日目のUFJ戦、ここまで両チーム共に3勝1敗と勝率では五分、セット率ではガロンズが第2位、UFJが第3位となっていました。本リーグの最終戦が、プレーオフ出場権をかけた試合となりました。

ガロンズはエース：清水の強烈なサーブで第1セットを先取。第2セットをUFJのエース：倉坂の強打などで奪われた後、第3セットをガロンズが取り、勝利に王手をかけました。第4セットは、前半の大量リードを中盤のミスなどで吐き出し、先に22-24とセットポイントを握られましたが、ここからエース：清水のサービスエースなどで24-24に追いつくと、一気に25-24とマッチポイント。しかし、勝負所で繋ぎやサーブにミスが出て26-28でこのセットを落としてしまいました。最終セットは終盤までガロンズ：清水・藤井、UFJ：倉坂のエース同士の打ち合いとなりましたが、結局、勢いのあるUFJに13-15で押し切られてしまい、グランドチャンピオンズマッチ出場権を獲得出来ませんでした。



長野ガロンズは2016年2月12日にV機構準加盟が承認され、決勝リーグは今回が最後となりました。初参戦が2008年、以後8年間にわたり本リーグにお世話になり、チームの強化並びにリーグ参戦の自覚、地域との連携、バレーボールの普及に精進して参りました。

舞台は変わりますが、今後も決勝リーグの成功と更なる発展を願っております。

## 男女共3位以上無しで過去最低の成績に終わる

【総務副委員長：木下久資・競技副委員長：吉川 豊】

3月19日（土）～20日（日）、各県男女上位4チーム、男女計40チームを集めて標記大会が長野市・須坂市（男子：須坂市立相森中学校体育館・須坂市立墨坂中学校体育館、女子：長野運動公園総合体育館）で開催されました。



男子は、1位：伊那市立春富中学校・2位：中川・飯島中学校（合同チーム）・3位：塩尻市立丘中学校・4位：松本市立丸ノ内中学校が出場しました。

この内、春富中と中川・飯島中は初戦を突破しましたが、丸ノ内中は一回戦で初出場の緊張から足が動かず、相手エースの攻撃やロングサーブに対応出来ないまま、富山県3位の南砺市立福野中学校に敗れました。又、丘中も初戦で石川県1位の白山市立光野中学校の巧さに屈し、初日で姿を消しました。

2日目、春富中は準々決勝で福井県3位の鯖江市鯖江中学校と対戦。1セット目中盤迄は競り合ったものの、相手に対応すると攻め手を失い、逆に相手

1年生エースの攻撃が止められずに敗退しました。又、中川・飯島中も、攻守の要であるエース：水野を中心によく食い下がったものの、如何せん決め手のあるアタッカーが1枚では追いつけず、福井県4位の越前町立宮崎中学校に準々決勝で敗れました。

一方女子は、1位：長野市立裾花中学校・2位：安曇野市立堀金中学校・3位：茅野市立長峰中学校・4位：山ノ内町立山ノ内中学校の4チームが出場しました。

山ノ内中と堀金中は、インフルエンザの影響や大会の空気に吞まれたこともあって本来の粘りあるバレーが展開出来ず、山ノ内中は新潟県4位の胎内市立乙中学校に、堀金中は富山県2位の富山市立北部中学校にそれぞれストレートで敗れました。惜しかったのは長峰中。一回戦で富山県4位の氷見市立西條中学校と対戦し、出だしこそ相手ペースの展開



でしたが、徐々に粘り強く反撃。フルセットに持ち込みました。その第3セット、終始リードして先に24点を取ったものの、ここから相手の粘りにあって逆転され、惜敗となってしまいました。

女子最後の砦となった裾花中は、2年生はキャプテン一人のみという若いチームながら、選手個々のバレー経験は豊富。初戦で福井県3位の美浜町立美浜中学校と対戦し、圧倒的な攻撃力をベースに伝統の高速コンビバレーを展開して相手を圧倒。女子チームで唯一ベスト8に残りました。2日目の準々決勝、相手は富山県1位の富山市立呉羽中学校。大型選手はいないものの、サーブ力とディフェンス力が抜群のチームでした。第1セットは相手の粘りに攻撃が単調になる一方、ミスも重なって21点で落としましたが、2セット目は終始接戦を展開。終盤では相手マッチポイントを凌いで21点から追いつきましたが、デュース後は競り負け、最後は27-29で敗退となりました。

過去13回の歴史（第9回大会は東日本大震災の影響で中止）の中で、多い時には男女上位8チーム中6チームが長野県という時もあり、逆に最低でも1チームは3位以内に入っていた（第12回大会は裾花中女子の1位のみ）のですが、今回、長野県開催でありながら1チームも3位以内に入れなかったという寂しい結果になってしまいました。夏に向けて更なる強化が望まれます。

## 男子は大町クラブが薄氷の連覇 女子は長野松代総合病院が4連覇

【クラブ連盟理事長 竹内 稔】

モルテン杯第 10 回北信越クラブバレーボール9人制選手権大会が平成 28 年 3 月 19 日（土）・20 日（日）、福井県敦賀市運動公園総合体育館をメイン会場に男子 11 チーム、女子 8 チームが参加して開催されました。

本大会は、北信越 5 県の代表チームと前年度優勝チームの男子「大町クラブ」（長野県）、女子「長野松代総合病院」（長野県）が参加して平成 27 年度 9 人制クラブチームのチャンピオンを争う大会です。



長野県からは前年度優勝の 2 チームの他、男子は「OKAYA」、女子は「大町クラブ」、「ThROUGH」が参加しました。

大会第 1 日は、ブロック別の予選グループ戦で順位を決定。第 2 日は順位グループによるトーナメント戦が行われました。県勢では、大町クラブが準決勝で三つ葉クラブ（新潟県）に先にマッチポイントを与えるも逆転勝利。決勝は敦賀クラブ（福井県）に圧勝しての連覇を果たしました。

女子は長野県の 3 チームが準決勝に進み、長野松代総合病院が THROUGH に圧勝し、決勝戦は昨年同じく大町クラブとの県勢対決となりました。1・2セット共に最後まで競り合う好ゲームとなりましたが、長野松代総合病院が競り勝って 4 連覇を果たしました。

長野県勢のレベルの高さを示す結果ではありましたが、近年は県内の歴史ある 9 人制バレーボールチームが減少傾向にあります。長く競技を続けられる種目である 9 人制バレーを、県内関係者の皆さんには是非応援して頂きたいと存じます。

《大会結果：長野県関係》

【男子】

優勝 大町クラブ（3年連続）

第 5 位 OKAYA

【女子】

優勝 長野松代総合病院（4年連続）

準優勝 大町クラブ

第 4 位 THROUGH



## 男子は伊那谷Vキッズが連覇 女子は小布施スポ少が雪辱

【総務副委員長 木下久資】

第10回長野米カップ県大会が3月6日（日）、長野市のホワイトリングで開催されました。この大会は、小学生の新人大会に相当するもので、小学校5年生以下の選手でチームが構成されています。又、今年が第10回の記念大会ということで、参加チーム数を増やしての開催となりました。

以下、優勝チーム代表者の寄稿を掲載致します。

【伊那谷 V-kids 保護者会代表 桐生英子】

3月6日（日）、第10回長野米カップ長野県小学生バレーボール記念大会が盛大に開催され、私たち伊那谷 V-kids は昨年続き、今年も優勝を果たすことが出来ました。

しかし、優勝迄の道のりは険しく、子供たちには不安一杯のプレッシャーのかかる大会でした。



初戦、準決勝と苦戦しながらも、何とか決勝戦に進出。その決勝、戸倉戦では1セット目を先取したものの、2セット目はミスが目立って落としてしまいました。両者共にボールを落とさず、長いラリーが続く場面が多くあって苦しい戦いでしたが、みんなでボールを繋ぎ、最終セットを取ることが出来ました。

この大会の結果に満足することなく、子供たちには少しでも昨年の結果に近づけるように、次の大会に向けて頑張りたいと思います。

今まで応援して下さいました方々に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

【小布施スポーツ少年団女子コーチ 土屋正史】

昨年の11月より新チームがスタートし、今回長野県の大きな大会となる長野米カップ県大会を2年ぶりに優勝することが出来ました。

大会を振り返ると、初戦から緊張した表情がわかりました。試合が始まると徐々に緊張も解けて、普段のようなバレーが出来てきました。しかし、簡単な失点や、失点にならなくても凡ミスが多く見えました。

決勝戦の戸狩 JVC 戦もサーブミスやサーブカットミスが続き、セットを落としました。3セット目は、ミスがありつつもレシーブに粘りが出て、エースにボールを何とか繋いで攻撃出来ました。

夏に向けて、大きな反省点を残しました。この反省を、今後の練習にしっかりと生かしていきたいと思えます。

この大会の準備から当日の運営まで、長野県小連の役員や開催地の北信西支部の役員の皆様など、たくさんの方々のご協力があったので今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

私たちは、3月末に福岡県で開催されるスポーツ少年団全国大会に出場します。夏の全国大会の悔しさをぶつけ、この大会の2連覇を目指して頑張ります。



平成 27 年度

## 第 4 回 13 地区対抗 6 人制バレーボール選手権大会 U12 の部を開催

【指導普及委員長 城倉 淳】

標記大会を 3 月 13 日（日）、辰野町荒神山体育館・辰野中学校体育館・西箕輪中学校体育館で開催致しました。



男子優勝の佐久平チーム

JVA ゴールドプランを受け、若年層競技人口拡大と 13 地区協会の人材確保を目的として平成 24 年度にスタートしたこの大会も 4 回目となりました。昨年度は小学校 6 年生以下の部として実施したカテゴリーを、今年度は中学校 1 年生以下の「U12 の部」として実施しました。中学 1 年生に小学生を加えたチームが男子 4 チーム、女子 2 チームの計 6 チーム、小学生のみのチームが 15 チームでした。

男子は中学 1 年生に小学生を加え、バランスの良いチームを作り上げた佐久平が優勝。地区協会スタッフの皆さんの熱意が伝わってきました。

女子は小学生だけで編成した塩尻木曾と長水が優勝。中学へ入学してからの活躍が期待されます。年ごとに盛り上がりを見せている大会ですが課題も多くあります。地区協会の皆様から寄せられる意見を参考にして来年度以降もバレーボール人口拡大へ向けて努力していきたいと思ひます。



女子 A ブロック優勝の塩尻木曾チーム



女子 B ブロック優勝の長水チーム

## 三溝裕五氏が県スポーツ振興功績者有功章を受章

【専務理事 竹淵光雄】

平成27年度長野県スポーツ振興功績者表彰及び国民体育大会等における優勝者の表彰式が、3月23日（火）午後1時から県庁講堂で行われ、強化委員並びに強化委員長として長年活躍された三溝裕五氏が有功章（個人の部）で表彰されました。

又、県全体では、有功章（個人の部）15名、有功章（団体の部）6団体、栄光章3名、勲功章1名、合計25名の方が表彰されました。

バレー関係では諏訪郡体協推薦のNPO法人富士見町体育協会バレーボール部が表彰を受けました。



## バレー関係3団体が県教育委員会表彰を受ける

【専務理事 竹淵光雄】

3月23日（水）、長野県庁講堂に於いて平成27年度の児童生徒教育委員会表彰が行われ、バレーボール協会からは、長野市立裾花中学校の全国中学校体育大会、第45回全日本中学校バレーボール選手権大会女子優勝、長野県選抜チームのJOCジュニアオリンピック第29回全国都道府県対抗中学バレーボール大会女子優勝、創造学園高等学校男子バレーボール部の第68回全国バレーボール高等学校選手権第3位の3団体が県教育長表彰を受けました。



今回、スポーツ関係で表彰を受けたのは全部で88の個人と団体でした。しかし、球技スポーツ団体で表彰されたのは独りバレーボールのみ。長野県の学生スポーツ界に於けるバレーボールの地位と責任を感じずにはられませんでした。

## VCトライデント 県知事を表敬訪問

【専務理事 竹淵光雄】

3月17日（木）午前9時40分より長野県庁3階知事応接室に於いて、VC長野トライデントのVリーグチャレンジII優勝、チャレンジI昇格、第70回国民体育大会4位入賞の報告会が開催されました。



協会からは齋藤副会長・竹淵専務理事が出席。VC長野トライデントからは、佐々木顧問・笹川監督・油井アドバイザー・杉山主将・峯村選手・小林選手が出席し、阿部知事、伊藤教育長他県スポーツ課の皆さん列席の上、齋藤副会長の挨拶に続いて笹川監督より報告並びに出席者の紹介が行われました。阿部県知事からはスポーツで長野県をもっともっと盛り上げて欲しいとの激励を、伊藤教育長からも今後の活躍を期待するとのお言葉を

頂きました。笹川監督や選手からは今日までの経過と、これから更に厳しくなるリーグ戦への決意を報告。最後に全員で記念写真を撮って終了となりました。

## 全国審判委員長研修会開催～平成28年度ルール改正報告

【審判委員長 中島俊昌】

平成28年3月19日（土）に全国審判委員長研修会が、翌日20日（日）には全国審判講習会が東京都慶応義塾大学・慶応義塾中等部にて開催され、日本協会審判規則委員会委員長及び規則部・指導部・登録部より報告がありました。特に報告すべき点について報告致します。



審判規則委員会の運営基本方針を5項目決めました。

「選手・指導者を対象に、改正されたルール及びルールの取り扱いについて説明を行い、以って競技力向上に資する」

これについて、昨年に引き続きルールを守るチーム作りの努力を行って頂きたいので、選手及び指導者を対象に指導して頂きたいとのお話がありました。

よって、長野県においても県協会主催の審判講習会及び各地区協会における審判講習会を開催致しますが、

審判員のみならず選手及び指導者の参加を是非お願い致します。

又、今年度より6・9人制ルールブックについては、ケースブックと一体となったルールブックに編集されました。よって販売金額が改定されましたことをご了承下さい。

ルール改正点・修正点は下記の通りです。

（6人制）6人制については、特にありません。

- （9人制）
- 1 正規の選手交代について1セットにつき6回まで要求する事が出来る。
  - 2 タッチネットの取り扱いについて、6人制に準ずる取扱いとなりました。

詳細につきましては、審判講習会時にご説明させて頂きますので是非、選手及び指導者の方の参加をお願い致します。

又、ご希望があれば、各カテゴリーにおいて講習会を開催して頂き、講師派遣も致しますのでご活用下さい。ご希望の方は、審判委員会委員長の中島までご相談下さい。

## 平成 27 年度 全国競技委員長研修会が開催される

【競技委員長 坂田秀男】

公益財団法人日本バレーボール協会(JVA)主催の「平成27年度全国競技委員長研修会」が3月5(土)、6日(日)に東京で開催されました。



研修会では、JVA主催大会の報告が行われ、今後の競技会の目指すべき姿や課題点について伝達があったほか、特に28年度より全国大会へ推薦されるチーム枠については、ブロック枠となる旨が報告され、さらにそれに伴い北信越ブロック競技委員長により各種目の県代表枠について協議致しました。

また、9人制の普及を目的に、現在9人制トップリーグが開催されておりますが、更に充実された大会にしたい旨報告され、国体種目への取り組みも報告されました。

尚、以上の研修会内容については4月23日(土)に競技委員会を開催し、県内大会の円滑な運営に努めて参るつもりであります。

## 平成 27 年度 全国指導普及委員長会議 報告

【指導普及委員会 竹内 護】

3月5日(土)～6日(日)に東京都文京区のホテル機山館において標記会議が開催され、参加して参りました。この会は、公益財団法人日本体育協会の『公認スポーツ指導者資格公認研修』を兼ねて開催されているため、2日間で15時間にわたる講義・研究協議・指導実習が行われるという大変ハードな内容となっております。

開会式後、最初の木村憲治JVA会長の講義から一貫して強調されたことは「バレーボール協会においては、本音でも建て前でも暴言や体罰は容認しない」ということでした。特に、指導普及委員会では公認指導者を増やしていくと共にこうした指導姿勢を浸透させていくことが課題とされています。以下に今回の研修内容を記載します。

- 1 指導普及委員会への期待 (木村憲治)
- 2 スポーツ現場における体罰の防止について (田村悦智子：旧姓前田)
- 3 リオ・東京五輪に向けた取り組みについて (小田勝美)
- 4 バレーボールのトレーニングについて (大石博暁)
- 5 ビーチバレーの指導法と大会運営について (石川雅道)
- 6 指導普及活動・指導者活用における課題 (グループ討議)
- 7 日本体育協会からの情報提供 (伊藤体協係長)
- 8 指導者養成事業の企画 (指導実習)
- 9 発掘育成委員会の取組みとの連携について (勝見俊也)
- 10 競技人口拡大への日小連の取組みについて (工藤 憲)
- 11 競技人口拡大と体罰防止に関する取り組み (研究協議)



木村会長の講義



モントリオール五輪メダル

あの厳しかった大松監督のスパルタ練習でも、過酷な練習ではあったが、体罰はなかったこと、自分自身も体罰の経験は無かったことなどもモントリオール五輪金メダリストの田村（旧姓：前田）講師から事例として挙げられていました。

そして何より、スポーツが本来もつ「子ども達が目をきらきらさせながら、夢中になって取り組む姿」を生み出す取り組みを最重要視することが競技人口の拡大に繋がると同時に、暴言や体罰の防止策にもなることを再認識させられました。指導普及委員会の大きな課題であり、最終的にはトップチームの強化にも繋がる方策だと思えます。

又、まだまだ周知が足りないのですが『バレーボール 2015 宣言』  
(<https://www.jva.or.jp/jva/declaration.html>) は、是非広く皆さんに活用して頂きたい（特に宣言文）旨お願いをして、報告と致します。

## 3月 試合結果

- ☆ 2015/16V・チャレンジマッチ 船橋大会  
<http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2015siaikeka/28.3.5challengematch.pdf>
- ☆ 第10回記念長野米カップ長野県小学生バレーボール大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2015siaikeka/28.3.6maicup\\_syogakusei.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2015siaikeka/28.3.6maicup_syogakusei.pdf)
- ☆ 第4回長野県13地区対抗6人制バレーボール選手権大会（U12）  
[http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2015siaikeka/28.3.13\\_13tiku\\_u12.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2015siaikeka/28.3.13_13tiku_u12.pdf)
- ☆ モルテン・ミカサカップ第14回北信越中学新人バレーボール優勝大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2015siaikeka/28.3.19hokusinetsu\\_tyugaku\\_sinjin.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2015siaikeka/28.3.19hokusinetsu_tyugaku_sinjin.pdf)

## 4月 スケジュール

1. 4/4(月)	一般社団法人Vリーグ機構打合せ会議	(長野市)
2. 4/16(土)~17(日)	平成28年度北信越バレーボール連盟各県理事長、委員長会議	(富山県)
3. 4/24(日)	第66回中部日本6人制総合男女選手権大会県予選会(高校の部)	(安曇野市)
4. 4/26(火)	平成28年度県体育協会加盟団体代表者会議&スポーツ懇親会	(長野市)